慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	後記
Sub Title	
Author	添谷, 芳秀(Soeya, Yoshihide)
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2000
Jtitle	法學研究 : 法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.73, No.1 (2000. 1) ,p.541- 541
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	池井優教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-20000128-0541

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

後記

池井先生のこれまでの暖かいご指導に対して、執筆者一同に代わって心よりお礼申し上げたい。

池井先生は、慶應義塾における日本外交史研究の伝統を新たな段階に引き上げられた。一九七三年に上梓なさった『日本外交史概説』は全国の外交官試験受験者のバイブルとなり、一九八二年の増補を経て一九九二年の三訂に至るまで、労を惜しまず改訂に取り組まれた。そして、中国、アメリカ、ロシア(ソ連)、朝鮮半島という日本の重要な隣国との外交に関して、常に新鮮な分析視角から、明治維新以降戦後期までをカバーする数多くの先駆的研究を発表なさった。さらに、日米野球交流史を解き明かした名著『白球太平洋を渡る』を出版なさってから、スポーツと外交史を統合した新たな分野を開拓された。その間池井先生は、コロンビア大学、在香港日本総領事館、再びコロンビア大学、ミシガン大学、そして南京大学と、米中両国で研究なさり教鞭をおとりになった。

また池井先生は、日本内外で実に幅広くご活躍になった。アメリカ大リーグに関するご造詣は改めて繰り返すまでもない。教育、社会問題から野球に至るまで、マス・メディアを通した池井先生も印象深い。数多い社会へのご貢献のなかで案外知る人が少ないのは、長島茂雄現巨人軍監督が会長を務めた「ウェーブ二〇〇〇」の副会長として、世界の子供達の交流と福祉のためのボランティア活動に取り組まれたことであろう。池井先生は、その話術とお人柄で、会う人をたちまち「池井ファン」にしてしまわれた。

池井先生が学生に注がれた愛情も、傍から拝見して大変まぶしくみえた。一九八六年にまとめられた『池井ゼミ二〇年』のあとがきに、かつて小泉信三先生が戦死されたご子息を偲んだ有名な一節にならい、「再びこの世に生を受けたらもう一度慶應義塾の教壇に立ちたい。そして君達のような学生と再び池井ゼミを開きたい」とお書きになっている。一九七三年には、一橋大学の細谷千博教授との合同ゼミを基礎とする合同セミナーを発足させ、それは今日でも十大学合同セミナーとして続いている。

池井先生は慶應義塾をこよなく愛しておられた。先生のご退職で慶應義塾には大きな穴があいてしまうが、今後の先生のますますのご健勝とご活躍を願うはかりである。そして、先生がこれからも慶應義塾を暖かく見守って下さることを確信している。

二〇〇〇年一月

法学部教授　添谷芳秀